

日本大学第三学園生徒支援会レター 創刊号

2010年11月8日発行
発行:生徒支援会役員会

「生徒支援会って何？」

5月29日(土)に、日本大学第三学園講堂にて生徒支援会設立総会が開催されました。改めて、生徒支援会設立経緯について説明します。



「今までは後援会という組織が運営？」

後援会と言われても、ピンと来ない方も多いと思います。日本大学第三中学高等学校のOBの保護者の方々から選出された役員により運営された組織で、在校生保護者会員が納入した会費等により様々な活動を行っていただきました。

昨今、学校を取り巻く環境が激変し、現教職員と在校生保護者が連携して、より良い学校環境を創出する必要性から、上記後援会を解散し、現教職員と在校生保護者から選出された役員により、生徒支援会を立ち上げ、在校生の支援を目指して今年から組織されました。

「生徒支援会はPTAと違うの？」

基本的には、現職教職員と在校生保護者による組織であり、いわゆるPTAと同じ運営ですが、主役である在校生を全面的にバックアップし、より良い学校環境、教育環境の実現を目指し、生徒支援会と命名されました。

「生徒支援会ができて、何が変わるの？」

今までは、後援会に会費を納め、その使い道について会員総会で決算を承認するだけでしたが、今後は、現職教職員と在校生保護者による組織運営になりますから、その活動が身近なものになります。ややもすると学校とのパイプが太くはありませんでしたが、今後は生徒支援会がその学校とのパイプ組織になります。現教職員と在校生保護者選出の役員が同じテーブルについて協議する場ができましたので、双方向のコミュニケーションができます。会費の有効活用、保護者を通じた生徒支援、クラス担任と各保護者のコミュニケーション等、より良い学校環境を目指し、活動していきたいと思えます。



日本大学第三学園 学校長 堀内 正

学校改革の一つとして、ここまで長い間学園の発展にご協力いただいていた日本大学第三学園後援会組織が、5月の定期総会で幕を閉じ、新しく「生徒支援会」が発足しました。本学園の将来に向かっての第一歩が踏み出されました。この生徒支援会は、「学校の教育方針に沿って教職員と現役生徒の保護者との連携を図り、保護者の意見に耳を傾け、生徒が学校生活をより豊かにするために意見交換等を図る等の教育環境作り」を目的とした組織です。先日の文化祭では、リサイクル委員会・イベント委員会の方々が出した模擬店等に大勢のお客様の列が見られました。コミュニケーション委員会では、テーマに沿った活動が活発に行われています。生徒支援会役員の皆様には、規約等の見直し、各種委員会と役員会がどのように連携していったらいいのか、いろいろな課題の解決に精力的に活動していただいております。これから、更なる三中・三高の発展のためにご協力よろしくお願いします。



「悪戦苦闘中！」 生徒支援会 会長 浅井文輔

生徒支援会設立総会から約5ヶ月。設立総会でも、今年は生徒支援会の準備委員会だと考え、活動すると宣言しましたが、今でもやっぱり準備委員会だったなと思います。今は、二年目から生徒支援会活動を軌道に乗せるべく、クラス幹事選出、幹事会開催、各種委員会の立ち上げ、保護者アンケート実施、三饗祭での生徒支援会企画検討と実施、会則の見直し等、数回の役員会を重ねてきました。とにかくやってみることをコンセプトに、様々な壁に直面しながらも、少しずつ生徒支援会を取り巻く環境が見えてきたところです。まずはこの生徒支援会レター発行から、我々役員会の活動をお伝えします。

役員会の動きがわからないとのご意見を耳にしますが、役員会で決定したことは各会員に周知できるように、ホームページ立ち上げを含めて鋭意検討しています。

「改めて！」 22年度生徒支援会役員紹介

創立総会時2名の欠員でしたが、7月10日に行われました第一回幹事会にて、2名の役員が選出され、やっと会則で規定されている14名の役員が揃いました。

改めて紹介します。

| | | | | | |
|-----|-------|--------|----|-------|--------|
| 会長 | 浅井文輔 | (高3-T) | 理事 | 塩沢文敏 | (教職員) |
| 副会長 | 木津久子 | (高2-D) | 書記 | 猪口多美子 | (中1-C) |
| 副会長 | 大竹さな江 | (高2-B) | 書記 | 新井勇治 | (教職員) |
| 理事 | 井上美智子 | (高1-B) | 会計 | 加藤幸子 | (中2-B) |
| 理事 | 松本真理子 | (高1-A) | 会計 | 原利治 | (教職員) |
| 理事 | 生平康子 | (中3-C) | 監査 | 三澤富美子 | (中1-E) |
| 理事 | 福原久美子 | (中2-F) | 監査 | 佐々木剛 | (教職員) |

「委員会が組織されたの？」 第一回幹事会開催と委員会活動

7月10日にクラス幹事参加による第一回幹事会を開催。以下の三つの委員会を立ち上げ、生徒支援会活動を本格的に立ち上げました。

- 1、リサイクル委員会（リサイクル活動担当）
- 2、イベント委員会（学校行事支援活動担当）
- 3、コミュニケーション委員会（新規活動検討担当）

以下、各委員長からの報告です。

リサイクル委員会 加賀谷留美子委員長（高1-D）

10月2日と3日に開催された三覺祭において、制服等のリサイクル販売を行いました。両日ともに開店前から列が出来るほど多くの皆様方にお越し頂き、大変盛況のうちに終わることができました。

また、当日に直接制服等を届けて下さった方も多数おられ、お礼を申し上げます。今後も改善を図りながら、引き続き活動してまいりますので、お譲り頂ける品がございましたらご協力をお願いいたします。

〈ご寄付頂ける品々の回収方法〉（随時受付）

- ・学校の各行事の折に回収箱を設置。
- ・生徒支援会宛に学校へご持参またはご郵送



イベント委員会 片倉裕委員長（高1-T）

イベント委員会は、13名の委員のうち女性11名の圧倒的な女性パワーの組織です。三覺祭では、模擬店「SANKO庵」を開催し、大盛況に終わりました。「SANKO庵」を通して、委員達は生徒達と同じフィールドで苦闘しながら、パン・団子を販売しました。「残りの団子買ってください」の委員たちの呼びかけに、「全部買うよ！」と快く応えてくれた通りかかった男子生徒達。その時、周囲の人達から一斉に拍手が自然と沸きました。それは、生徒達と周りの人たちの間に「絆」が生まれた瞬間でした。三覺祭は、お金には代えられない大切な心を教えてくれました。



コミュニケーション委員会 萩原義浩委員長（高3-D）

生徒支援会の広報活動を担いつつ、新規企画を立案していく、そんな一委員会が、私たちコミュニケーション委員会です。生徒支援会役員会による保護者アンケート実施を受けて、生徒と保護者、そして学校関係者から挙げられた意見、質問の収集活動を通じ、生徒と先生、生徒と保護者、保護者と先生のコミュニケーションをどのように図るかを議論しております。今回は、一学期に行いました保護者アンケートの集計が終了しましたので、コミュニケーション委員会通信を発行しました。様々なご意見を踏まえ、今後の生徒支援会の活動を考える上での参考にしたいと考えています。コミュニケーション委員会通信をじっくりとお読みいただければ幸いです。

「盛り上がったね！」 三覺祭での生徒支援会活動報告

10月2日、3日の両日行われました三覺祭では、リサイクル委員会による制服リサイクル販売と、イベント委員会によるお休み処SANKO庵の開設、パンとお団子販売を実施しました。今までのボランティア活動であるおゆずり会の活動を引き継いだものです。委員長報告にもありますように、盛況のうちに終わりました。生徒支援会としては、初めての試みでもあり、反省も多々ありました。来年度の実施方法、売上金の使い方等、申し送り事項を取りまとめ中です。

今年度は、下記のように売上金は全て学校に寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



制服リサイクル販売売上金 143,100円、
SANKO庵での売上金 61,347円は、今年度は全て
学校に寄付し、生徒達に還元されます。



お詫び 上記企画について、役員会で事前打合せを重ねて当日臨みましたが、学校との連絡がうまくいかず、今回の企画の周知徹底を図ることが出来ませんでした。書面を借りてお詫び申し上げます。

「えっ？200円が？」

東京都私立小・中・高等学校協会第8支部父母の会活動紹介

教育機会均等などの見地から、年々拡大する公立と私立の父母負担の教育費格差を国の予算によっては是正し、独自の校風を打ち出す私学が、私学の多様性を発揮するために経営を守り、父母負担軽減の為助成を維持することを目指した運動です。この組織は東京都私立学校246校(中学184・高等学校240)が加盟している私立学校の組織であり、教員と父母がともに活動しているものです。第8支部と言うのは、世田谷区、目黒区、町田の計32校による組織で、全12支部の中では最大のものです。

生徒一人あたり200円が、みなさんの納めている学費の中から毎年協会に支払われています。また、都からの補助としては、今年度実績として、生徒一人当たり33,000円が支給されていますので、無関心ではられません。

毎年私学振興拡充大会があり、今年は、10月16日(土)日本工業大学駒場中学校・高等学校 アリーナにて行われ、生徒支援会役員とクラス幹事を中心に51名が参加しました。「父母負担教育費の公私間較差の解消」「私立学校教育の充実のため、経常費補助の更なる拡充」を大会決議として採択しました。

現在茂木役員理事以下、理事2名、評議員3名の計6名の父母が本学園より選出され、活動されています。来年の大会参加要請には、ご協力をお願いいたします。